

## 大阪市における科学技術振興の取組み

大阪市科学技術振興指針（平成 21 年 3 月策定） —科学技術で世界に伸びる大阪の実現—	
<p>□ 時代のニーズに対応する研究開発の推進 「健康・安心を支える研究開発」 急速に進む高齢化に対応し、ロボット技術や健康予防医療など健康・安心へのニーズに応える研究開発を推進</p> <p>「低炭素社会・ものづくりを支える研究開発」 地球環境保全に向けた低炭素社会の実現や都市のヒートアイランド現象の緩和に向けた環境関連技術やものづくり基盤技術の研究開発を推進</p>	<p>□ 科学技術を生かすしくみの創出 「技術支援のしくみの充実」 高度な企業ニーズに迅速・的確に対応するため、これまで培ってきた中小企業等に対する支援のノウハウを生かし、技術支援サービスを充実・強化</p> <p>「研究開発成果の事業化促進」 大学・研究機関と企業を結びつけ、大阪における産学官のネットワークを充実し、新事業の創出に向けた研究開発成果の事業化を支援</p>
<p>□ 科学技術を担う人材の育成 「科学教育の推進」 理科好きなこどもの裾野を広げ、科学技術に関心の高いこどもの個性・能力を伸ばすとともに、大学との連携により人材育成を充実</p> <p>「科学理解の促進」 市民が科学的思考力を育み、科学技術の理解を深めるため、科学技術コミュニケーションの機会を充実</p>	<p>□ イノベーションを生み出す拠点の創出 「融合による創造を促進」 ナレッジ・キャピタルを知的創造活動を推進するハブと位置づけ、産学官連携による取り組みを推進</p> <p>「知的創造拠点の核となる創造機能の導入」 研究開発プロジェクトの結節点として、産学と連携した研究開発・事業化促進拠点を形成</p> <p>「科学とアートの融合を生み出す機能の導入」 創造的なアイデアを誘発し、新しい領域の創出をめざして科学とアートの融合を生み出す拠点を形成</p>

